

早稲田大学大学院日本語教育研究科 オンライン入試説明会

在学生の声

博士後期課程



2026年7月

趙 允彬

JO, Yunbin

経歴

韓国の大学で日本語日本文学を専攻し、日本への交換留学を経験したほか、韓国人学習者への日本語指導も行いました。

入試 区分

2023年4月 修士課程入学
2025年9月 博士後期課程入学
一般入試



早稲田大学大学院 日本語教育研究科を選んだ理由は？

交換留学で教科書とは異なる生の日本語に触れ、その面白さと難しさを教育に生かしたいと思ったことです。

日本語教育に興味をもったきっかけは？

実践と研究の両方を重視しながら、日本語教育について深く学べる環境に魅力を感じたためです。多様な背景をもつ学生や先生方と学べる点も大きな理由でした。



大学院生活はどうですか？

授業やゼミを通して、自分の問いを少しずつ深めています。文献を読んだり、研究について話し合ったりする中で、自分一人では気づけない視点に出会うことも多いです。

また、多様な背景を持つ日本語学習者と関わる機会も多く、授業で得た知識を実践の場で捉え直したり、新しい気づきを得たりしています。特に、学習者の一人として、また様々な学習者の声に触れる中で、自分が当たり前だと思っていた日本語を改めて見つめ直すこともあります。

日研には、自分の関心を大切にしながら、先生方や仲間と対話を重ねて研究を深めていける環境があります。最初から完璧な研究テーマが決まっていなくても、学びながら少しずつ形にしていけることができます。

受験を考えて
いる人への
メッセージ

日本語教育について悩み、考え、実践したい人にとって、とても刺激の多い場所だと思います。



◆博士後期課程2期目のスケジュール

(授業の1コマ=100分)

時間	月	火	水	木	金	土	日		
9:00				勤務(非常勤先の 大学で日本語教育)	家事、休憩				
10:00	勤務(学会事務局で の日本語教育関連)		勤務(学会事務局で の日本語教育関連)			研究日(研究活動、 授業準備など)	日本語個人レッス		
11:00									
12:00									
13:00		勤務(学内の日本語 教育研究センターで の日本語サポート)						研究活動、授業の準 備など	研究活動、授業の準 備など
14:00									
15:00	日本語個人レッス		修士ゼミに参加	日本語個人レッス	日本語個人レッス				
16:00									
17:00	理論科目受講								
18:00	日本語個人レッス	日本語個人レッス	休憩	研究活動、授業の準 備など	趣味活動	研究活動、授業の準 備など			
19:00									
20:00							日本語個人レッス		
21:00									
22:00	研究活動、授業の準 備など	研究活動、授業の準 備など	研究活動、授業の準 備など						
23:00									
0:00									

※上記以外に指導教員から定期的に研究指導を受けています。

※色分けについて
 オレンジ: 大学院授業関連
 緑: 自習・研究など
 青: 仕事関連
 白: その他

シヤム アルン

SHYAM, Arun

経歴

国立英語外国語大学（インド）助教授
（2009年～2024年）

入試 区分

2025年9月 博士後期課程入学
一般入試



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稲田大学 大学院日本語教育研究科

日本語教育に
興味をもった
きっかけは？

日本の高校に留学した経験とその後の教育実践を通して日本語教育に関心を持ちました。



早稲田大学大学院
日本語教育研究科を
選んだ理由は？

人の自由と幸福を大切にするという理念に共感し、多角的な視点から地域日本語教育や言語政策について学びながら、研究デザインについても考えを深めたいと考え、志望しました。

大学院生活はどうですか？

他大学の修士課程を修了して日研の博士後期課程に進学したため、1期目と2期目は主に日研の修士課程の講義を受け、3期目からは研究デザインの構築等に取り組んでいます。

仕事と研究を両立する日々は忙しいですが、1年目に受講した講義で知り合った先輩や後輩と触れ合う中で、学びも広がっています。



30代後半で仕事を辞めての進学・留学には不安もありましたが、その心境を理解してくださる指導教員のおかげで、安心して研究に取り組んでいます。

受験を考えて
いる人への
メッセージ

私のように、実践の経験は多少あるものの、研究に踏み出すことに迷いがある方、同じような背景を持つ方にぜひ一歩踏み出していただければと思います。日研でお会いできるのを楽しみにしています。

◆博士課程3期目のスケジュール

(授業の1コマ=100分)

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00	勤務 (研究機関で日本語教育)	翌週の講義の準備	勤務 (研究機関で日本語教育)	翌週の講義の準備	研究日 (研究活動)	研究活動	
10:00							
11:00							
12:00							
13:00					理論科目受講 (日研)		
14:00							
15:00							
16:00							
17:00					研究活動	研究活動	研究活動
18:00							
19:00							
20:00		勤務 (大学で講義)		勤務 (大学で講義)			
21:00							
22:00							
23:00							
0:00							

※上記以外に指導教員から定期的に研究指導を受けています。

※色分けについて
 オレンジ: 大学院授業関連
 緑: 自習・研究など
 青: 仕事関連
 白: その他



松井 佑樹

MATSUI, Yuki

経歴

経済学部卒業後、金融機関および製造業企業に約8年間勤務。帰国後は兼業で日本語教師のキャリアを開始。

2023年9月 修士課程入学
2025年9月 博士後期課程入学
一般入試

入試
区分



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稲田大学 大学院日本語教育研究科

日本語教育に興味をもったきっかけは？

言語の定着を促進するAIを用いた動的な語彙テストについて 早稲田大学大学院 日本語教育研究科(修士) 松井 佑樹 准教授 研究員

研究背景

- 静的な客観テストの限界 → 本来「相手」がいる言語活動の実態と異なる
- ヴィゴツキーの社会文化理論に基づく手法
- ダイナミック・アセスメント (以下 DA)
- 適切な援助があれば解決可能になる水準「発達の最近接領域 (以下 ZPD)」も見極めようとする評価方法
- DAの活用について、L2英語教育では多くの研究がある
- 日本語教育ではほとんど研究が行われていない

研究目的

従来の静的な語彙テストに対する新たな手法として注目されるDAについて、擬人的なチャットボットを活用した日本語の語彙テストの意義や学習効果を実証的に検証し、現場の日本語教師に役立つ実用的な提案を試みる。

主たる先行研究をベースに、以下の3つの仮説を設定。

- ① 語彙のチャットボットによるダイナミック・アセスメント (以下 CA-DA) はL2日本語教育においても診断的情報を提供し、語彙定着を促進するか
- ② 語彙のCA-DAが回答する適切なヒント文は生成AIにより作成可能か
- ③ 学習者の複言語レパートリーを活用する語彙のCA-DAは実現可能か

先行研究

Jeon, J. (2023). Chatbot-assisted dynamic assessment (CA-DA) for L2 vocabulary learning and diagnosis. *Computer Assisted Language Learning*, 36(7), 1338-1364.

- ・L2英語教育での語彙テストにおけるDAの活用
- ・受験者が正答できない単語に対して暗示的なものから明示的なものへと4段階の「足場掛け」としてのヒント文を示すチャットボットを活用
- ・従来のテストと比較して、学習者の診断的情報の取得とより効果的な語彙の定着を促進することを実証的に示した → “diagnosis” と “learning” の2つの観点から有効な方法

本研究が提案する語彙テストのワークフロー

行方者 ツール AI 課題文がある場合

教師 (半自動) 課題文と語彙リストの提示のみ

生徒 (半自動) 回答の提示

教師 評価

生徒 評価

会場のみなさまへのご質問

【みなさま向け】

- ① 語彙テストの回答に母語や英語の使用を認めるとしてよいのか、どのように考えますか？
- ② 一度で正解できなくても、ヒントを段階的に与えてみてそれに就いて点数も付与するという評価法(DA)についてどう考えますか？

【学習者を教えられている方向け】

- ③ どのような時、学習者の「語彙力が上がった」と感じますか？
- ④ 語彙力向上のため何か工夫していることはありますか？
- ⑤ 日常的に語彙テストを実施していますか？
- ⑥ どのように語彙テストを準備していますか？
(語彙の選定、問題の作成 など)
- ⑦ 語彙テストの形式はどのようなものですか？
(紙 or Web、選択式 or 記述式、文脈あり or なし など)
- ⑧ 語彙テストを作る際、どのような点に苦労されていますか？

デモ版 操作方法 (匿名)

- ・まず、自分の名前(匿名)と、自分のレベル(初級、中級、上級)を選択する。
- ・“1”と入力すると、1番の問題とチャットボットとのやりとりが開始される。
- ・順番に最後の問題まで実施する。

シンガポール在住時、第二言語ができることによる人生の拡張や日本語を教えることの意義を実感したことです。

早稲田大学大学院 日本語教育研究科を選んだ理由は？

自身の関心領域である言語学習評価やAIの教育活用を専門的に研究されている先生のもとで学びたいと考えました。また、実践と研究の両面を重視する本研究科の環境が、自分の目指す日本語教育者像に合致していたためです。

大学院生活はどうか？

教室での実践から得た気づきを研究に、研究の知見を授業に、と往還させられる点が日々の充実につながっています。日研には私のように社会人経験を経て進学された方も少なくなく、多様な背景を持つ仲間との対話も大きな学びの源になっています。学会発表の機会にも恵まれ、多くの刺激を受けています。



研究では、AIを活用した学習と評価の統合について取り組んでいます。自分の研究と並行して、国立国語研究所での非常勤研究員や大学において非常勤講師としても勤務しています。

受験を考えている人へのメッセージ

日本語教育は、その人の人生や社会のあり方そのものに関わる奥深い分野です。修士課程への進学を考えている方は、まずやってみるというのをおすすめします。

博士後期課程については、私は、どの先生のもとで学ぶのかということと、研究科の特徴という主に2つの要素から決めました。前者は人それぞれですが、日研修了生は日本語教育界の様々なところで活躍されており、私にとっては後者の要素も非常に大きな決め手となりました。

◆博士課程2期目のスケジュール

(授業の1コマ=100分)

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00	移動	非常勤研究員 (国立国語研究所)	日本語教育以外の仕事	研究活動など	日本語教育以外の仕事	決まったスケジュールなし	決まったスケジュールなし
10:00	大学・非常勤講師						
11:00							
12:00					昼食	昼食	昼食
13:00	昼食	非常勤研究員 (国立国語研究所)	研究活動など	移動	授業準備	決まったスケジュールなし	決まったスケジュールなし
14:00	日本語教育以外の仕事						
15:00				ゼミ	研究活動など		
16:00							
17:00							
18:00	夕食・休養	移動	夕食・休養	移動	夕食・休養	夕食・休養	夕食・休養
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
0:00							

※上記以外に指導教員から定期的に研究指導を受けています。

※色分けについて

オレンジ: 大学院授業関連

緑: 自習・研究など

青: 仕事関連

白: その他

「在学生の声」をご覧いただき
ありがとうございました。
皆さまと日研でお会いできる日を
楽しみにしています！



Graduate School of Japanese Applied Linguistics
早稲田大学 大学院日本語教育研究科